

行配付第六九號

行外務

週報

第一八一號

(自康德七年七月七日
至同月十三日)

滿洲興業銀行調查課

週報一第一八一號十四次

頁

- △ 週間浦潤重要日誌 一
- △ 週間國外重要日誌 二
- △ 内外時局要覽(六月) 四

△ 浦潤財界事情

本年度後出貿易ノ情勢

- 一 特ニ特產專管制ノ影響ニ就テ 別冊
- 外國爲營管運ノ強化 六
- 金融引締政策ノ影響 九
- 農產物出運リ活潑化 一〇
- 炭礦労働者確保對策 一一
- 本年上半季中ノ全滿手形交換所交換高 一三
- 週間發表經濟統計 一七
- △ 日本財界事情

開工、森林兩省機轉調整

一八

十五年度麥作豫想收穫高

一九

外國貿易概況（七月上旬）

二〇

公債五億圓發行

二一

東京卸賣物價（六月分）

二二

株式市況

二三

金融事情

二四

△支那財界事情

北支產業五箇年計畫要項決定

二五

北支資金調整強化

二六

蒙古、通貨取締法第二次改正

二七

△諸表

當行週末主要勘定幾高

二九

滿洲中央銀行券、日本銀行券、朝鮮銀行券發行高

三〇

海外爲替相場、海外金銀埠相場	三一
株式相場 一 東京短期	三二
全 奉天、大連短期	三三
商品相場 一 大阪紡布、精花、神戶豆粕	三四
重要商品公定價格 一 大豆、豆粕及主要糧穀	三五
全 米穀、繩糸布	三六
一 砂糖	三七

◎ 週間満洲重要日誌

七月十日

△日本紀元二千六百年御慶祝、魯國訪日。皇帝陛下本日新京御著、回鑾アラセラル。

十一日

△爲替管理法ニ基ク命令ノ件中改正（經濟部令）・七月十五日ヨリ施行。

△西班牙經濟使節團來京。

◎ 週間國外重要日誌

七月七日

△獨逸 ヒットラー總統、ベルリンニ於テ伊チアノ外相ト會談。

八日

△蒙古、駐外代表部官制、駐華辦事處官制公布。

△英國、日本ノビルヲ授蔣路禁絶要求ヲ拒否。

△佛國 國務會議憲法修正決定。

九日

△日本 商工、農林兩省機構調整閣議決定。

△日英協定ニ基キ天津英國租界内保管現銀十萬磅ヲ分離引渡開始。

△佛國 上下院憲法修正可決。

△フランス銀行業務再開。

△ソ聯 イラン・トルコニ對シ領土割譲要求ノ最後通牒ヲ發ス。

十日

△日本 跡軍軍令ヲ以テ軍司令部令、師團司令部令ヲ公布（全本土ヲ四軍管區ニ分チ兵備體系ヲ改革）。八月一日ヨリ實施。

△米國 ル大統領議會ニ特別教書ヲ發シ四十八億四千萬弗ノ國防追加豫算ヲ要求。

△ルーマニア 國際聯盟脫退。

△勃・洪通商條約調印。

十一日

△佛國 大象少元帥フランス國首席ニ就任。

△フ・首都ヴエルサイユ・政府機關パリニ移轉。

十二日

△佛國 ベタン新内閣成立、ルブラン大統領辭職。

△英國 日本ノビルマ援蔣路禁絕要求ニ踏歩ヲ示ス。

十三日

△日佛天津細目協定成立。

△メキシコ 大統領選舉ニ國民革命黨力マテ同氏當選。

内外時局展望　（六月）

六月十日伊太利ハ遂ニ英・佛兩國ニ對シテ開戦ヲ宣言シタ。ムツソリーニハ、地中海ノ鐵鎮ヲ斷タン・トルノダクト云ツテ立ツタ。同國ノ參戰ハ既ニ久シイ世界ノ宿題テ、何人モ此ノ日アルベキヲ豫想シテ居タノデアルガ、其ノ態度ガ頗ル慎重デアツタダケニ事茲ニ至ツテ、愈々蹶起ノ感ヲ深クシ、又之ガ今次歐洲戦争ノ動向ヲ決スル上ニ重大ナル要因トナルノテ、流石ニ各國ニ多大ノ衝動ヲ與ヘタ。伊太利ノ開戦宣言ヲ受ケルヤ佛政府ハ對伊開戦ヲ全國民ニ宣言シ、直チニ應戦ノ姿勢ヲ執ツタガ、英國ハ、準備ハ既ニ全シ、トシテ表面ハ平靜裡ニ立チ上ツタ。一方獨逸ハ、感激ト歡喜ニ國民ノ血ヲ沸カセ、米國ハ、全世界ニ失望ヲ與ヘルモノデアル、ト米國自體全世界デアルカノ如キ體ノ聲明ヲ發シ、ソ聯ハ沈黙ノ裡ニ密カニ微笑ヲ洩ラシテ居タヤウデアル。而シテ日本ハ十一日駐日伊・英・佛三國大使ヲ通ジ、支那ニ於テ交戦國相互間及帝國トノ間ニ不慮ノ事端ヲ誘發セシメザル様申入レヲ行ヒ、米・獨兩國大使ニモ右申入レノ旨ヲ通達シタ。

斯くて世界ハ之ヲ契機トシテ如何様ノ新展開ヲ示スカ、異常ノ關心ガ茲ニ集メラレタノデアルガ、伊太利ノ參戰ハサナキダニ敗色濃キ佛陣營ニ急激ナ動搖ヲ與ヘ、一方獨逸軍ノ疾風的巴里入城ヲ傳フル等悲報相次グニ及ンテ、十六日レイノ内閣ノ總辭職トナリ、ペタソ内閣成立ノ十七日遂ニ佛國ヲシテ獨逸ノ軍門ニ降ルノ已ムナキニ至ラシメタ。即チ佛國

ハ二十二日前大戰ニ獨逸ガ長キ恨ヲ呑ンデ佛國ニ屈伏シタ因縁ノ地北佛コンビエーニュニ
於テ獨佛休戰協定ヲ受諾シ、次イデ伊佛休戰協定ニモ調印シ、茲ニ佛國ハ歐洲戰ノ一翼カ
ラ撤退スルコト、ナツタ。然シ之ニ對シ英國ハ佛新政府ヲ否認シ、飽クマテ對獨戰爭フ繼
續スル旨ヲ聲明シタ。

新ノ如キ世界ノ新情勢ニ對處シ、日本ハ東亞ニ於ケル安定勢力トシテノ立場カラ帝國外交
ノ基本方針ヲ宣明スルコト、ナリ、二十九日有田外相ハラヂオ放送ヲ以テ此ノ重大演説ヲ
行ツタガ、其ノ内容ハ世界平和達成ノ手段トシテ地域的安定分野ノ確立ヲ強調スルト共ニ
東亞自主ノ原則ヲ闡明シ、尙歐米諸國ガ東亞ノ平和建設ヲ妨害スルコトナキ様反省ヲ促シ、
更ニ今次歐洲戰爭ノ成行特ニ南洋ヲ含ム東亞ノ諸地域ニ及ボス影響ニ付テハ重大ナル關心
ヲ有スルモノデアル等ヲ明カニシタモノデアツタ。即チ歐洲戰爭ノ推移ガ錦印。蘭印問題
等漸ク東亞ニ波及セントスル現狀ニ鑑ミ、東亞ノ安定勢力タル日本ヲ中心トスル所謂東亞
モンロー主義ヲ中外ニ闡明シタモノデアツタ。

絞上ノ如キ日マグルシキ國際時局ノ變轉ノ裡ニアツテ日滿兩國ノ融合ハ益々固ク、我ガ
皇帝陛下ニハ日本紀元二千六百年御慶祝ノ爲六月二十二日國都御發、御訪日ノ途ニ上ラセ
ラレ、二十六日東京御着、畏クモ天皇陛下ト至崇至高ノ御交驩ヲ遂ゲサセラレタルコト
ハ、東亞自主ノ礎石タルベキ日滿兩國ノ一體的融合ヲ御躬ラ御顯示アラセラレタルモノデ
アリ。兩國一億四千萬國民ノ恐懼感激ノ裡ニ此ノ御盛儀ヲ終ヘサセラレタ。

◎ 满洲財界事情

外國爲替管理、強化

政府ハ日滿支通貨政策上ノ見地ヨリ過般緊急措置トシテ滿洲國幣ノ北支向携行限度ノ引下
ゲラ行ツタガ（本週報第一七八號所載）・今回之等法的根據ヲ強化スル爲七月十一日經濟
部令ヲ以テ爲替管理法ニ基ク命令ノ件中改正ヲ行ヒ七月十五日ヨリ之ヲ施行スルコト・ナ
リ・同時ニ之ニ關スル經濟部當局談ヲ發表シタ。

經濟部當局談

現下我ガ國經濟ノ諸情勢ヨリシテ國際收支ノ合理的的調整及密輸出ノ徹底的抑制ハ最緊要ナ
ルニ付・右要請ニ基ク爲替管理強化ノ取締體制ヲ法制化スルノ目的ヲ以テ爲替管理ニ關ス
ル經濟部令ノ一部ヲ改正シ・來ル七月十五日ヨリ

- 一、滿洲内ニ於ケル外國通貨（磅・法・留・聯銀券・蒙銀券等）ニ依ル支拂ノ取締リ
- 二、通貨（日本通貨又ハ外國通貨）ノ滿洲外ヘノ輸入・輸出・取締リ
- 三、國幣・日本紙幣及外國通貨ノ滿洲内ヘノ輸入・取締リ
- 四、滿洲外ヘ又ハ滿洲内ヘノ旅行者ノ旅費携帶限度ノ引下ゲ
- 五、滿洲外送金ノ取締リ

ヲ行フコト・シタ。最近滿支間ニ於ケル通貨及物貨ノ實勢著シク乖離セルニ伴ヒ國境地帶
一帯ニ兩國通貨ノ氾濫交流ヲ見ルト共ニ物資ノ北支向逃避甚シク・爲ニ我方國通貨政策及貿

易政策等諸經濟政策遂行上支障渺カラザル事象現ハレタルヲ以テ之ガ緊急對策ヲ講ズルノ必要ニ依リ。既ニ事實上ノ措置トシテ諸工作ヲ行ヒタルモ更ニ之ヲ徹底セシムル爲今回ノ改正ニ於テ

一、滿洲内ニ於ケル外國通貨ニ依ル支拂

二、通貨（日本國通貨又ハ外國通貨）ノ滿洲外ヘノ輸出及國幣（日本國紙幣又ハ外國通貨）ノ滿洲内ヘノ輸入ハ經濟部大臣ノ許可ヲ要スルコト。シタ

次ニ北支向旅行者ノ携帶通貨ノ取締ニ關シテハ既ニ六月二十一日ノ新聞及報道等ニ於テ臨時爲替局當局談判發表シタ通り六月二十四日ヨリ事實上ノ措置トシテ換帶通貨ノ交換額ヲ制限シタルモ。今更ニ改正ニ於テハ旅行者ノ通貨携帶輸出入額ヲ

一、旅費トシテ五十圓相當額以上ノ外國通貨ヲ携帶スル場合

二、旅行者ガ金額五十圓以下ヲ携帶輸入スル場合

ラ余キ經濟部大臣ノ許可ヲ要スルコト。シ。從來ノ自由携帶輸出限度タハ現金・信用狀・送金爲替ノ清算シテノ五百圓及自由携帶輸入限度金額二百圓ヲ大幅ニ引下ゲ。國際收支適合ヘノ一助タラシメントスルモノアル。旅行者ハ之等取締ノ趣旨ヲ體シ旅費拂帯ハ出來得ル限り送金爲替ヲ利用シ現金ノ携帶ハ必要アル最少額ニ止ムルト共ニ大連埠頭、安東、奉天、山海關、古北口ノ各鐵道驛ニ所在スル鮮銀・中銀又ハ聯銀ノ紙幣交換所ヲ利用シ旅行先ノ外國通貨ニ交換セラレ度イ。

尙生活費等一般貿易外送金ノ取締ニ關シテモ國際收支調整ノ目的フ以テ一箇年五百圓相當額以下ノ送金自由限度ヲ撤廢シ・金額ノ如何ニ拘ラズ經濟部大臣ノ許可ヲ要スルコトトシタ。

此ノ送金ノ徹底的取締ニ關聯シ考慮セラル、コトハ労働者ノ送金ナルモ、之ニ付テハ特ニ我が國產業開發ノ現況ニ鑑ミ、當局トシテ重大ナル關心ヲ拂ツテ居リ、之ガ具体的措置ニ付テハ產業開發ノ重點主義ト歩調ヲ合せ遺憾ナキヲ期シ度イト考ヘテ居ル。

以上改正ノ目的、改正事項、大略ヲ説明シタガ、要スルニ今回ノ改正ハ國民全体ノ協力ヲ得ザレバ何等其ノ效果ヲ擧ゲ得ザルヲ以テ、政府ノ方針ヲ理解シ、萬一法ニ違犯スル如キコトナキヤウ希望スル次第アル。

右當局談ニ依リ今回改正ノ目的及改正事項ノ大略ハ明カデアルガ、改正部令ノ要點ヲ摘記スレバ左ノ通りアル。

一、滿洲内ニ於ケル外國通貨（日本國通貨ヲ除ク）ニ依ル支拂ヲ經濟部大臣ノ許可ヲ要ス
加）（第三條第五號追加）

二、滿洲外（日本ヲ除ク）ニ旅行セントスル者ノ旅費トシテノ外國通貨携帶限度ヲ五十圓相當額以下（舊五百圓相當額以下）ニ引下グ（第四條第三號改正）

三、外國（日本ヲ除ク）ニ旅行シ又ハ滯在スル者ニ對シ旅費、俸給、給料、手當、學費等ノ送金ヘ金額ノ如何ニ拘ラズ許可ヲ要ス（第四條第五號削除）

四他ノ各號ニ該當セザル一箇年ヲ過ジ百圓相當額以下ノ自由送金ヲ禁ズ（第四條第八號
削除）

五滿洲外（日本ヲ除ク）ヨリノ紙幣・日本國銀行券又ハ外國通貨ノ輸入不要許可限度ヲ

二百圓ヨリ五十圓ニ引下グ（第十一條ノ二改正）

尙關東州側ニ於テモ右同様ノ趣旨ヲ以テ七月十一日關東州外國爲替管理規則ヲ改正シ・七月十五日ヨリ之ヲ實施シタ。

金融引締政策ノ影響

政府ハ義ニ本年度資金計警調整要綱（本週報第一七六號所載）ヲ決定シ・右要綱ノ趣旨ニ基キ政府財政・緊縮ヲ圖ルト共ニ特殊會社・準特殊會社ノ事業資金及經費ニ壓縮ヲ加ヘ・資金ノ合理的運用ニ萬全ヲ期シツ、アルガ、右ニ對應シ金融部面ニ於テハ政府ノ方針ヲ體シ當分ノ間金融引締政策ヲ施行スルコト、ナリ。日下之ヲ實行中テアル。而シテ其ノ經過ハ各銀行ノ完全ナル協力ニ依リ極メテ良好ナル成績ヲ示シ。一般物價騰貴ノ抑制ニ資スルコトハ勿論。思惑買溜メノ防止。不當在庫品ノ投出シ等戰時下統制經濟ノ圓滑ナル運營ヲ阻害シツ、アツタ種々ノ惡素因ヲ除去スル上ニ相當好影響ヲ齎シシ。モノト見ラレテ居ル。但シ本政策實施後僅ニ一箇月餘ヲ経過セルニ過ギメ、從ツテ其ノ影響モ未ダ必ズシモ顯著デハナク、又全滿各都市、各商品及金融機關ヘノ依存程度如何等ニ依リ一律ニ見ルコトハ出來ナイガ、大體今回ノ金融引締ハ思惑又ハ買溜資金・不急用途ノ資金、其ノ他國策ニ反

スル處アリト認メラレル資金貸出ハ徹底的抑制フ圖ツテ居ル關係上此ノ種原因ニ依リ既ミ
ヲ招來シツ、アツタ各品商品ハ先ツ在庫品ノ投出シヲ餘儀ナクサル、ト共ニ今後ノ思料貯
溜ハ不可能トナリ、相場低落ノ傾向ヲ見セテ居リ、特ニ木材、セメント、煉瓦等土建材料
ハ顯著ナルモノガアル様デアル。又原棉、ゴム製品等ノ外電話相場、家賃等モ大體頭打チ
ノ形テ値下ゲ氣配ガ濃厚デアル。

然シ右ノ傾向ハ特ニ近代的金融機關ト密接ナル關聯ヲ有スル日人間ニ見ラレル所デ、之ト
比較的關係薄キ漁人筋デハ此ノ儘値下リ傾向ガ濃化シテモ賣溜ストツクヲ吐出ス迄ニハ未
ダ多少ノ期間ガアルトモ見ラレルガ、斯ル傾向ガ續ク限リ結局ハ手持ニ堪ヘナイ所デ、何
レニシテモ今回ノ金融引締ガ闇取引ト之ニ因ル異常ナル物價高抑制ニ著シイ效果ヲ與ヘタ
コトハ決定的デアル。

農產物出廻り活潑化

昨年來實施サレ來ツタ農產物統制ノ結果、其ノ出廻リハ頗ル不圓滑トナリ、之ガ制度ノ再
檢討論ガ擡頭シ。大豆ヲ始メ米穀及主要糧穀ノ蒐荷、收買配給機構ニ付テモ種々論議サレ
テ來タガ、最近端境期ナガラモ農產物ノ出廻リハ活潑化シテ來タ模様デ、右事情ハ今後ノ
統制方針ニモ影響スル所大デアリ、當局ニ於テモ多大ノ注意ヲ拂ツテ居ルト云ハレテ居ル
右原因ハ政府ノ出荷促進工作・或ハ前期ニ入り手持ノ解放等モアルガ、其ノ主要ナル原因
ハ大體左ノ諸點ニ存スルモノト見ラレ、今後ノ成行ハ頗ル注目サレテ居ル。

一、本年度作物ノ豫想收穫高ハ未ダ正式發表ヲ見ナイガ・全滿ノ氣候順々順調デアリ・而モ作付面積ハ計畫ヲ突破スル現狀テアリ・平年作ヲ遙ニ凌駕スルアラウト云フ見透シガツイタコト

二、政府ノ統制強化ニ依リ從來統制外ニアツタ雜穀類ガ新穀穀年度カラ統制サレルコト、ナツテ居リ・殊ニ對日・對支輸出助長ノ意味カラ到底値上げ等ハ考ヘラレナイ情勢ニアルコト

三、政府ハ蒐荷・收買機關ノ活用方針ニ付テハ交易場問題等ニ於テモ見ラル・如ク頗ル強硬ナル態度ヲ以テ臨ミ・個人的不當利得ノ絕對的排除方針ヲ採ツテ居ルコト

四、政府ハ農產物・動員體制整備ノ爲・本年作付臺帳作製ヲ開始シテ居リ・生産ヨリ配給ニ至ル精密ナル調查ニ着手シ・新舊穀ノ區別ヲ明瞭ニシ・中間機關ガ介在シテ不當利得ヲ得ルノ餘地ヲ絶對ニ排除スル方針ヲ確立シタコト

炭礦労働者確保對策

本年度ノ石炭增産計畫ハ政府並ニ關係業者ノ努力ニモ拘ラズ・近來炭礦勞働者ノ移動激化ト之ガ捕給難・爲計整遂行上多大ノ障礙ヲ來シツ・アル實狀デアルガ・之ガ對策ニ付經濟部礦山司及民生部勞務司ニ於テハ關係業者トノ間ニ協議ヲ重ネ・其ノ結果ニ基キ今回勞務司ニ依ツテ開催サレタ各省勞務科長會議ニ於テ炭礦勞働者確保ニ關スル諸方策ヲ決定シタ。

元來國內労働力ノ不足ハ從來國外労働力ヲ以テ調製ヲ圖ツテ來タガ・最近ノ北支國際收支ノ不均衡ニ基ク北支ニ於ケル労働者募集難ニ因リ必然的ニ國內労働力動員ニ轉換ヲ餘儀ナクサレルニ至ツタノデ・今後炭礦労働者ノ補給モ主トシテ國內ヨリノ募集ニ依存セザルヲ得ナイコト・ナリ・同會議ニ於テ政府ヨリ炭礦労働者補給對策ヲ提示シテ各省當局ノ協力ヲ要望シ・取敢ヘズ刻下ノ緊急事タル出炭計畫・遂行ニ必要ナル労働力確保ノ爲・七月ヨリ九月マテ・緊急需要労働者數四萬ノ中三萬五千ヲ安東・錦州・奉天・濱江熱河・吉林六省ヨリ募集スルコトニ決定・之ト同時ニ炭礦労働者確保ノ根本對策トシテ左ノ諸方策ヲ決定シタ。

△労働者募集對策

一、國外募集

イ・炭礦労働者要員數獲得ノ爲必要ナル募集費爲替買入レハ全額許可方ヲ經濟部ニ連絡スル

ロ・炭礦労働者募集費ハ北支向貿易外送金ニ於テ優先的考慮ヲ爲ス

二、國內募集

緊急需要炭礦労働者獲得ノ完全ヲ期スル爲・餘剩労働力ノ調査ト相俟チ炭礦労働確保ニ影響ヲ及ボスガ如キ募集及労働者使用ニ對シ統制ヲ強化スル

△炭礦労働者移動防止對策

一、從來ノ例ニ鑑ミ、積極的ニ事業者ニ浮動労働者ヲ監視セシムルト共ニ統制諸法ハ改正整備シ、移動率ノ上昇ニ對シテハ炭礦ノ責任ニ於テ制限移動率以下ヲ保持セシムル

二、制限移動率保持ノ爲ニハ

イ、労働者生活必需品ノ優先配給策ノ確立

ロ、保護監視ノ徹底ヲ期シ住宅設備及福祉施設完備ニ萬全ノ策ヲ講ズル

三、強力ナル労務體制下ニ勞意識ノ昂揚ヲ圖リ、主從一體關係ヲ強化スペク訓練スル

一、本年上半季中ノ全滿手形交換所交換高

本年上半期中ニ於ケル全滿六手形交換所（新京・奉天・營口・安東・哈爾濱及大連）ノ交換高ハ左ノ通り總枚數百二十九萬余枚、總金額四十二億五千三百余萬圓テ、前年同季分ニ比シ枚數四十萬枚（四割五分強）、金額八億九千五百余萬圓（二割六分強）、前季分ニ比シ枚數二十萬枚（一割九分強）金額一億七千四百余萬圓（四分強）ノ何レモ增加デアル。

右ハ國內經濟規模ノ擴大ニ伴フ一般取引ノ活況ヲ反映シタモノデアルガ、各地別ニ前季分ニ比較シテ見ルニ新京、奉天、營口、安東ハ大体順調ナ增勢ヲ辿リ、哈爾濱ハ交換所加盟銀行ノ増加等ニ依リ枚數金額共激増シ、大連ハ枚數ニ於テハ増加、金額ニ於テハ減少ヲ示シタ。

康德七年上半季全滿六手形交換所合計月別交換

六五四三二一 六六合六五四三二

月

月別 計算用

395

	合計	六年上半季合計	六年下半季合計			
月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月
計	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00
合	114444.00	114444.00	114444.00	114444.00	114444.00	114444.00
計	114444.00	114444.00	114444.00	114444.00	114444.00	114444.00

年	枚数					
	金額	金額	金額	金額	金額	金額
一月	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00
二月	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00
三月	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00
四月	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00
五月	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00
六月	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00	102444.00

一週間發表經濟統計

△郵政儲金現在額

五月末

管理局別

新奉哈歸計
奉天濱州

預入人員

三六〇七七五
四三六四八二
五〇二二二六
一一八三二六
一、四一七八〇九
一、三六二一五九
前月未合計

郵政總局發表
金額
圓

三二、九三九八二六
四〇、五九三四一四
四二、九〇一〇二九
八、三九一、四四六
一二四八二四七一五
一一九七七五八五九

◎ 日本財界事情

商工、農林兩省機構調整

政府ハ食糧行政ノ一元的統合ヲ圖リ戰時食糧政策ノ完遂ヲルト共ニ貿易行政ノ統一刷新ヲ圖リ輸出貿易ノ振興ニ資スル爲豫テ農林、商工兩省所管事務ノ根本的調整ニ付考究中テアツタガ、七月九日ノ閣議ニ於テ「農林商工兩省所管事務調整方針要綱」ヲ決定シタ。右調整ノ要點ハ第一ハ食糧行政ノ一元的統合ヲ圖リ、飲食料品ニ關シテハ配給、消費ヲ一貫シテ農林省ニ於テ取扱フト共ニ農林畜水產物ノ配給ニ關スル事項ヲ併セテ同省ノ所管トシ、農林畜水產物ノ集荷、原稿一付テハ原則トシテ集中スルコト、シカ結アル。又其ノ第二ハ貿易振興、見地引貿易ニ關スル事務ヲ原則トシテ商工省ニ集中スルコト、シタ點アル。從ツテ從來農林省所管物資ノ貿易ニ關スル事務ハ輸出生糸検査法、生糸検査所關係事務ヲ除ク一切ヲ商工省ニ移スコト、ナツタ。此ノ機構調整ハ十月頃ニ實現ラル筈テアリ、其ノ際或ハ省名等ヲ變更スル事等モ考慮サレテキル。

農林商工兩省所管事務調整要綱ノ要旨ハ左ノ如クデアル。

一、兩省ノ所管事項ハ原則トシテ物資別ニ生産、配給、消費ヲ一貫シテ統制シ得ル如ク區分スルモノトスルコト

右ニ基キ左ノ事項ニ關スル事務ハ農林省ニ集中スルモノトスルコト

名、農林畜水產物及飲食料品ニ關スル事項

四、農林畜水產物及飲食料品ニ關スル工業組合・商業組合・市場等ニ關スル事項

ハ、農林畜水產業用專用物品ノ配給ニ關スル事項

三、貿易ニ關スル事務ハ原則トシテ之ヲ關工省ニ集中スルコト、シ農林省所管物資ノ貿易ト
生産トノ關係ヲ調整スル爲兩省間ニ適宜連絡ノ措置ヲ講ズルモノトスルコト

三、化學肥料ノ生産ニ關スル事項ハ一般化學工業ノ綜合的統制ノ見地ヨリ之ヲ商工省ニ移管
スルモノトスルコト。但シ化學肥料ノ生産數量並ニ販賣價格ニ關スル事項ハ之ヲ農林省
ニ存置スルモノトスルコト

四、一般商事ニ關スル事項（倉庫業・取引所等）竝ニ商業組合・工業組合等ノ中央團體・商
工會議所等ニ關スル事項ハ商工省ニ存置スルモノトスルコト

五、物價ニ關スル事項ハ兩者ニ於テ各所之物資ニ付之ヲ分掌スルモ價格形成委員會ハ現狀ノ
儘トシ低物價政策ノ綜合的運用ニ遺憾ナキヲ期スルコト

十五年度麥作豫想收穫高

昭和十五年度全國麥作豫想收穫高（農林省發表）ニ依レバ大麥七百一萬二千四十石、裸麥
六百十四萬八百三十石、小麥一千一百十五萬七千四百四十石デ。其ノ前年實收高比較左ノ
通リテアル。

大麥
裸麥
小麥

三四四六一五
四〇九五八四
八四二〇八四

三〇一二〇四〇
六一四〇八三〇
一三一五七四〇

△
△

七五二〇二九
五八九七二二
四三五七二

作物段別

十五年豫想收穫高

前年實收高比較
△印減一石

外國貿易概況（七月上旬）

大藏省發表。七月上旬ニ於ケル日本ノ對外貿易概況左、通リテアル。（單位千圓）

	輸入	輸出	輸入	輸出	超
内地	一〇〇·一一二	八六·二五五	一三·八五七	一·八五七	
轉臺	セ三五〇	五四九三	九五九	二·八三五	
鮮	三·七九四	九五九	九二·七〇七	一·八五四九	
合計	一一·二五六	九二·八一	三·五〇五六	三·五〇五六	
前句	一一·二八六七	九二·八一	一〇〇·六八七	一·五七〇五	
前年同期	一一·三〇二三六	一九·四九·四三六	一·八〇·八〇〇	一·六七五·一三四	四·一·〇·七七
一月以降累計	一一·三〇二三六	一九·四九·四三六	一·八〇·八〇〇	一·六七五·一三四	四·一·〇·七七

尙本旬貿易ヲ主要品別ニ前年同期ニ比較スルニ輸出ニ於テハ生糸・機械類・鐵器諸食料。

陶磁器、雑品等が増加、綿織物、毛織物、綿織糸、木材等が減少シ、輸入ニ於テハ棉花、ベルブ等が増加、豆類、石炭、採油用原料、油糖、雑品等が減少シテキル。

公債五億圓發行

七月九日、三分半利國庫債券三億圓及支那事變國庫債券二億圓合計五億圓ガ左記要項ニ依リ發行サレタ。

三分半利國庫債券

1.名稱 三分半利國庫債券ふ號 2.發行額 三億圓（内歲入補填公債二億五千萬圓、政府出資公債五千萬圓） 3.發行日 七月九日 4.償還期限 昭和三十二至九月一日 5.發行價格 額面百圓ニ付九十八圓 6.利率 三分五厘 7.利子支拂期 三月一日及九月一日 8.初期利子（昭和十五年九月一日渡） 額面百圓ニ付五十一錢 9.發行方法 預金部引受一億五千萬圓、日銀引受一億五千萬圓、10.利迴歩合 應利三分六厘五毛・單利三分六厘八毛

支那事變國庫債券

1.名稱 支那事變國庫債券ふ號 2.發行額 二億圓 3.發行日 七月九日 4.償還期限 昭和三十二年九月一日 5.發行價格 額面百圓ニ付九十八圓 6.利率 三分五厘 7.利子支拂期 三月一日及九月一日 8.初期利子（昭和十五年九月一日渡） 額面百圓ニ付五十一錢 9.發行方法 日銀引受 10.利迴歩合 應利三分六厘五毛・單利三分六厘八毛

東京卸賣物價（六月分）

日本銀行調査、六月中ノ東京卸賣物價指數ハ三〇八・三テ、前月ニ比シ一分一厘方ヲ低落シタ。調査品目百十品中騰貴七品、低落二十品、保合八十三品テ、其ノ商品類別騰落割合左ノ通りアル。

（△印低落）

	前月比		前年同月比
	△	○	
食用農產物	△〇・四	一九・四	一九・四
其他食料及嗜好品	一・一	一	一九・四
織維原料品	△三・七	一八・五	一八・五
布帛	△四・四	一九・七	一九・七
建築材料	一・一	一六・七	一六・七
金屬材料	三・九	二・七	二・七
肥料	一・一	二八・五	二八・七
工業其	一・一	一三・五	一三・五
農業	一・一	一五・八	一五・八
其他	一・一	一四・四	一四・四
平均	一一・一	一・一	一・一

株式市場

政情見透難、利潤統制警戒、輸出不振、國際情勢見透難等ニ因ル不安人氣ニ一路落調ヲ辿ツテキタ株式市況ハ本週ニ入ツテ毛毬落ヲ續ケ。半恐慌狀態マデ演ズルニ至ツタガ、東株當局ノ株價維持對策乗出シニ依リ大藏・商工當局及日銀等ニ對シテ善處方ノ陳情ヲ續ケテ居リ、此ノ對策乗出シヲ契機トシテ週末ニハ新東ノ急反撥ヲ中心ニ久シ振リニ一齊引戻シ、利喰ヤ新規ノ買物ニ起ツテ雜株ハ軒並ニ二。三圓方ノ暴騰ヲ演ズルニ至ツタ。

本株短期週間高低

名	柄	週初	高値	安値	週末
新	東	一三三四〇	一三五四〇	一二九六〇	一三三四〇
新	大	六九二〇	六九九〇	六五九〇	六七八〇
新	鐘	一五七二〇	一五九二〇	一五三一〇	一五七四〇
新	郵	九七〇〇	九九〇〇	九三三〇	九七四〇
新	業	九一、二〇	九四九〇	九〇五〇	九四一〇
滿	船	六八六〇	七九〇〇	七五〇〇	七八五〇
滿	鐵	七九一〇	六九〇〇	六五三〇	六八一〇
滿	業	七九一〇	七九一〇	七九一〇	七三八〇

金融事情

△起債市場 起債市場ハ當局ノ慎重ナル打開工作ニ依リ本週中ニハ別項ノ國債五億圓以外ニハ起債條件ノ發表セラレタルモノナク、銘柄ヲ嚴選シテ徐々ニ打開ヲ圖ルモノノ如クアル。又預金増ニ依リ地方銀行ノ投資難ハ益々甚シイノテ日本興銀デハ過般來「興業債券」發行ノ都度特別割當ノ便宜ヲ與ヘテ來タガ。地方銀行側ノ要望ニ依リ此ノ特別割當ニ銘柄ノバラエティヲ付スルコトニ付大藏省ノ斡旋デ・他ノシ團ヲ有スル社債類ニマテ擴張スル工作が續ケラレテキル。

△短資市場 短資市場ハ週初來コール翌日物七厘一本ト強調保合ヲ續ケテキルカ・月央購救期ニ入ツタニモ拘ラズ斯ク強調・小繁忙ヲ持續シテキル原因トシテハ

期末ニ於テ各金融機關ノ國債買入促進ニ依リ市場資金ガ減少シタルコト・繭資金ガ農家ヨリ郵便貯金トシテ國庫ニ引揚ゲラレ銀行預金トナル率ガ比較的少イコト・租稅移納ノ多イコト・以テ差引勘定カラ見テ政府支拂カ比較的少イコト・特銀筋ノ日銀返金用需要ノ旺盛ナルコト等が舉ゲラレテキル。

◎支那財界事情

北支產業五箇年計畫要項決定

興亞院華北連絡部テハ北支產業五箇年計畫（昭和十六年度ヨリ昭和二十年度ニ至ル）樹立ノ爲豫テ準備ヲ進メテキタガ、此ノ程大要左ノ如キ要項ヲ決定シタ模様デアル。

一、產業開發ノ目標—地下資源（特ニ石炭）竝ニ農產資源（特ニ食糧）ノ開發ニ全力ヲ注グ
一、產業開發ノ方針—重點主義ヲ强行スルト共ニ開發計畫ノ綜合化竝ニ具体化ヲ圖ル
一、石炭增産一日滿ノ對支期待量ノ確保、中南支向供給竝ニ地場消費ノ充足ノ爲左ノ方針ヲ
採ル

(1)從來ノ採掘ヲ是正シ計畫的採掘ヲ行フ

右ニ要スル資金並ニ設備ハ日本内地ノ石炭增産計畫ノ一部ヲ北支ニ移行セシメルコトニ
依ツテ獲得スル

(2)軍管理工場ノ開放ト共ニ内地炭礦業者ヲ積極的に進出セシメル
い石炭增産ニ要スル電力ヲ開發スル、特ニ水力電氣ノ開發ニ依ツテ灌溉、治水ヲ兼ネル
一石三鳥ノ効果ヲ觀フ

(3)經濟的輸送ルートニ依ル計畫的輸送竝ニ輸送力ノ増強ヲ圖ルガ新線計畫ハ極力之ヲ抑

制シ、現行線ノ補強ヲ圖ルト共ニ運河ノ開發、港灣設備ノ擴張ヲ行ヒ一方強制配線ヲ

強化スル

一、食糧増產－日本人ノ食糧現地調辨ノ爲米ノ增産ヲ圖リ一方日華紡績ノ爲棉花增產ニ力ヲ注グガ、特ニ華人ノ食糧タル小麥、雜穀ノ增產ノ爲品種ノ改良、病蟲害驅除、耕作法ノ改善、荒蕪地ノ開發、農業水利ノ改良ヲ行フ、右ハ先づ鐵道愛護村模範地區ヨリ實施シ宣撫工作ノ實ヲ擧ゲル

北支資金調整強化

北支テハ聯銀券膨脹抑制其ノ他ノ理由ニヨリ今回資金調整ヲ更ニ強化スルコト、ナリ、在北支正金、朝鮮兩銀行各支店ノ貸出ニ關シ運轉資金ノ要許可限度ヲ從來ノ五十萬圓ヨリ十萬圓ニ引下ゲ、七月十日ヨリ之ヲ實施スルコト、ナツタ。尙五十萬圓以上ノモノニ關シテハ從來通り大藏省ノ許可ヲ必要トスルガ、五萬圓以上五十萬圓未滿ノモノハ北京駐在財務官ノ許可ヲ必要トスルコトニナツタ模様デアル。而シテ今後ノ資金調整方針ニ關シテハ内地ノ資金調整法ノ趣旨ニ則リ之ニ現地ノ特殊事情ヲ加味シタ重點主義ガ採ラレルモノト見ラレル。其ノ要旨左ノ通りテアル。

一、設備資金ノ貸出

一件ノ金額五萬圓以上、五十萬圓未滿ハ在北京財務官ノ、五十萬圓以上ハ大藏省ノ許可ヲ要ス、一萬圓以上、五萬圓未滿ハ北京財務官ニ報告セシムルコト

二、設備資金以外ノ資金（運轉資金）ノ貸出

一件ノ金額十萬圓以上、五十萬圓未滿ハ在北京財務官ニ之ヲ報告セシムルコト

今回ノ資金謂整強化ニ依リ在北支正金、朝鮮兩行各支店ノ貸出ハカナリ強度ニ抑制サレ從ツテ事業資金ノ放出ガ制約サレル爲駆銀券ノ膨脹ハ相當ニ歴止メラレルモノト期待サレルガ、反対ニ今次ノ措置ガ支那側銀行ニ及バナイ結果トシテ、貸出ノノ需要方支那側銀行ヘ向ツテ殺倒スルノデハナイカト見ル向モアルヤウデアル。但シ當局テハ支那側銀行ノ高金利ガ事業資金ニハ不向ト見テ樂觀シテキルト云ハレテキル。

尙北支ニ本店ヲ有スル日本側ノ天津、濟南兩銀行ハ今回ノ措置ノ適用ヲ受ケズ、從來通りノ貸出取扱ヲ續ケル由デアル。即チ設備資金一萬圓以上、運轉資金五萬圓以上ノ貸出ハ總領事館ノ許可ヲ要スルコト、ナツテキル。

蒙古、通貨取締法第ニ次改正

蒙古政府テハ八日政務院會議ヲ開催シ、通貨取締法ノ改正ヲ行ヒ、即日公布施行シタ。即チ昨年十二月二十五日ノ第一次改正ニ於テ通貨携帶、送金爲替、信用狀合計一千圓ノ自由

限度ヲ五百圓ニ引下ゲタガ今回ハ右限度ヲ更ニ二百圓ニ引下ゲタモノテ、圓系通貨ノ圓ブ
ロツク内交流ニ對シ日、滿、北支各當局ト同一歩調ヲ取ル爲ニ右ノ如キ改正ヲ行ツタモノ
デアル。

當行週末主要勘定殘高

民國7年7月13日現在(單位千圓)

資	產	負	債
貸付金	1.002.700	拂汎資本金諸積立金	34.088
滿洲興業債券價格較差	785	滿洲興業債券發行高	60.000
滿洲儲蓄債券價格較差	6.516	滿洲儲蓄債券發行高	14.932
有價證券	146.076	預金	635.096
手譜預金	9.583	政府貸下金	65.000
手許元金	4.957	再割及借入金	216.000
對鮮銀爲替尾貸	—	對鮮銀爲替尾借	8.879
		當座借越及手形借	81.806
		借入有價證券	38.000
		其他	16.816
計	1.170.617	計	1.170.617

滿洲中央銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	平均發行高	準 備	保 證
自 6.30	622.277	312.736	309.540
至 7. 6			

日本銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	發 行 高	正貨準備	保 證	保證 / 內制 限外發行高
7. 1	3602996	501.217	3101.709	901.709
2	3517720	501.237	3016433	816.433
3	3455053	501.237	2953766	753.766
4	3407125	501.237	2905838	705.838
5	3382686	501.237	2881399	681.399
6	3380102	501.237	2878815	678.815
平 均	3477548	501.237	2976261	776.261

朝鮮銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	發 行 高	準 備	保 證	保證 / 內制 限外發行高
7. 1	435.903	203.033	227.815	67.815
2	431.801	199.490	232.311	72.311
3	428.297	202.553	225.744	65.744
4	426.154	193.295	232.858	72.858
5	425.933	185.936	239.997	79.997
6	425.637	188.096	237.541	77.541
平 均	430.199	195.030	235.168	75.168

海外爲替相場

月 日	米 日	米 英	米 支	英 日	英 支
7.8	23.47	3.77	6.40	1/3 1/8	4 1/4
9	23.47	3.76 1/2	6.30	1/3 1/8	4 1/4
10	23.47	3.77 3/4	6.30	1/3 1/8	4 1/8
11	23.47	3.74	6.30	1/3 1/8	4 1/8
12	23.47	3.66 1/2	6.12	1/3 1/8	4 1/8
13	23.47	3.71 1/2	6.10	1/3 1/8	4 1/8

海外金銀塊相場

月 日	倫敦銀塊	紐育銀塊	倫敦金塊	紐育金塊
7.8	休 日	"	"	"
9	21 1/2	34 3/4	8/8/0	35.
10	21 1/2	34 3/4	8/8/0	35.
11	21 1/2	34 3/4	8/8/0	35.
12	21 1/2	34 3/4	8/8/0	35.
13	21 1/2	34 3/4	8/8/0	35.

株式相場 (単位圓)

月日	東京短期				新東大新			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
7.8	1334	1334	1339	1330	692	684	692	683
9	1347	1343	1347	1341	683	—	690	686
10	1333	1343	1345	1333	680	686	686	680
11	1344	1342	1348	1336	681	683	690	680
12	1321	1302	1325	1302	671	661	675	661
13	1336	1334	1343	1330	679	678	680	673

月日	東京短期				業滿鐵			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
7.8	771	771	772	770	686	688	690	686
9	772	771	772	771	690	682	690	682
10	756	759	759	756	675	675	677	673
11	755	749	755	745	677	668	677	663
12	721	712	732	706	660	658	660	655
13	736	738	743	731	677	681	681	670

月日	東京短期				石日紡鐵			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
7.8	1572	1572	1580	1567	760	763	763	757
9	1590	1579	1590	1579	764	765	765	759
10	1572	1578	1583	1571	755	750	760	755
11	1587	1576	1587	1574	751	744	754	733
12	1556	1550	1560	1544	737	738	738	727
13	1573	1574	1584	1560	742	750	753	740

株式相場 (單位圓)

月日	奉天短期				滿鐵				滿業			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安	寄	引	高	安
7. 8	770	771	771	770	692	693	693	692				
9	773	771	773	771	693	689	693	689				
10	755	—	—	—	673	677	677	673				
11	755	750	755	750	675	665	675	665				
12	729	713	729	713	660	659	660	657				
13	733	735	735	733	672	675	675	672				

月日	奉天短期				電甲				電業			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安	寄	引	高	安
7. 8	349	350	350	349	—	—	—	—	610	—	—	—
9	351	351	—	—	—	436	—	—	609	—	—	—
10	349	—	—	—	—	436	—	—	—	608	—	—
11	346	345	346	345	—	435	—	—	608	—	—	—
12	340	315	340	315	—	420	—	—	600	604	600	—
13	321	323	325	321	—	426	—	—	601	—	—	—

月日	大連短期				品大機新				
	五	品	大	機	新	寄	引	高	安
7. 8	301	300	303	300	307	—	—	—	—
9	307	304	307	304	317	—	—	—	—
10	302	302	—	—	315	—	—	—	—
11	303	301	303	301	309	—	—	—	—
12	291	286	292	286	304	299	304	299	—
13	297	298	300	297	—	301	—	—	—

商 品 相 場 (單位圓)

月 日	大 阪 (當張)		神 戶 (當限)	
	綿 布 (一反)	棉 花 (百斤)	豆 粕 (百斤)	寄 引
7. 8	2.95	2.975	72.50	—
9	3.05	3.030	72.25	—
10	2.95	—	71.15	—
11	3.05	3.020	72.25	—
12	2.90	2.970	72.20	—
13	2.90	—	72.20	—

重要商品公定價格

1 大豆・豆粕及主要糧穀

(單位圓)

地名	品 名		單位	價 格	備 考
新 京	大 豆	(新麻袋入一等品)	一車	3,789	- 重要特產物
哈爾濱	全 (")	"	3,844	- 專管法第七
大 連	全 (")	"	4,189	- 條ノ規定ニ
羅 津	全 (")	"	4,090	- 依ル滿洲特
新 京	豆粕	(一口千百枚ノモノ)	"	2,700	- 產專管公社
哈爾濱	全 (")	"	2,556	- ノ收買價格
大 連	全 (一口千枚ノモノ)		"	2,997	-
新 京	小 麥	國營檢查 二等合格	買入價格 60 號	11 53	小麥及製粉業統制法第九條ノ規定ニ依ル滿洲
		標 準 品	販賣價格	12 23	穀粉管理會社ノ買入及所賣價格
		高 梁	標 準 品 一 袋	5 38	主張過熟高粱 訓法第九條
		玉蜀黍	"	6 08	規定一九 滿洲穀粉會社 所賣價格
全 國 一 均	麥 粉	特 殊 品		8 32	專賣官署所
		普 通 品	一 等	7 32	此地ニ於ケ ル販賣人販
			二 等	6 32	賣價格

重要商品公定價格

2. 米 穀

—(單位圓)

地名	品 名	單位	價格	備 考
新京 米	1 水稻精米(風袋込、貨車乘渡)	45石	1458	米穀管理法第八條ノ規定ニ依ル康德七米穀年度ニ於ケル滿洲糧穀會社ノ米穀賣却價格
	中北部地方種、無砂米子米			
	2 胚芽米(同 上)		1580	
	中北部地方種、上 米			
	3 水稻糯精米(同 上)		1749	
	上 米			
	4 陸稻精米(同 上)			
	梗 上 米		1385	
	糯 上 米		1661	
	水稻梗精米(風袋込、貨車乘渡)			
輸入米	北海道米 一 等		1421	
	朝鮮米		1449	
	夕イ米		1865	

3. 織 糸 布

地名	品 名	單位	價格	備 考
新京 綿布	綿糸 十六番手(遼塔)	一 小	39500	原棉綿製品統制法
	二十番手(遼塔)	(40玉+幅)	44000	
	粗 布(進寶)	一 反	3717	第八條ノ規定ニ依ル元賣捌最高價格
	細 布(進寶)	"	1670	
	大 尺 布(白羊美人)	"	460	
	染大尺布(鼎發財)	"	590	

重要商品公定價格

砂 糖

(單位圓)

地名	品名	車賣	俵賣	秤賣	備考
新 京	精 糖	31.30	32.30	34.80	生活必需品 會社ニ依ル 配給統制價格
	白 双	31.30	32.30	34.80	
	赤 双	19.80	20.80	22.80	
	角 糖	8.40	8.75	0.38	

行外配付第七九號

(通報第一八一號) 別冊

本年度輸出貿易ノ情勢
一特ニ特產專管制ノ影響ニ就テ一

本年度輸出貿易ノ情勢

一 特ニ特產專管制ノ影響ニ就テ

經濟部貿易科調査ニ依レバ本年一月以降五月末累計貿易尻ハ四億一千三百萬圓ノ大入超ヲ示現シテキル。前年同期ノ入超額一億七千八百萬圓ヲ超エコト實ニ二億三千四百萬圓テ、過去ニ於ケル同一期間入超額ノ最高記録デアル。

参考ノ爲メ左ニ近年ニ於ケル自一月至五月累計貿易額ノ推移ヲ表示シテ見ヤウ。

康德元年	輸出	輸入	入超（△印出超）（單位千圓）
第二年	一八八一一五	二二一四九八	三三三八三
同三年	一八二〇二七	二四六三七三	六四三四六
同四年	三〇八五三七	二七八一〇二	三〇四三五
同五年	三〇七一五七	三三一九二九	二四七七二
同六年	三四八〇六二	四四八二六八	一〇〇一〇六
同七年	四一五三六三	一七八四〇六	五九三七六九
七年度	三四九五二六	七六二一四一	四一二六一五

七年度ニ於ケルカ、ル記錄的入超ハ輸入ノ激増ニ對シ輸出ノ振ハナカツタ結果ニ因ルモノ

デ、前表ニ見ル如ク輸入ヘ前年同期ヨリ一億六千八百萬圓ノ増加（増加率二八・四%）ヲ示

セルニ對シ、輸出ハ反對ニ六千五百萬圓（一五九%）ノ減少デアル。

セルニ對シ、輸出ノ不振ハ貿易統計ニ於テハ本年三月以降ノ現象ナルガ如キにテ與ヘルガ（次表
参照）コレハ輸出價額ニノミ捉ハレタ皮相的觀察デアツテ、實際ニハ昨年下半期來特ニ本
特產年度ニ入ツテカラ見ラレタ現象デアル。即チ昨年下半年ニ入ツテカラノ大豆、雜穀類
ノ價額暴騰ガ大イニ影響シ、輸出價額ハ本年一二月コロマテ表面的ニハ大体前年同期ヨリ増
加シ、如何ニモ好調ヲ續ケツ、アルカノ如キ感ヲ與ヘタノデアルガ、數量ノ方面ヨリ見レ
バ昨年九月以降例年ニ比シ著シイ減少ヲ示シ來ツタノデアル。左ニ歐洲六戰ノ勃發シタ昨
年九月以降最近マデノ輸出價額ノ變遷ヲ前年同期ト對比シテ見ナウ。

前年同期（單位千圓）

六年九月	三四五二二	四六九九〇
同十月	四八八〇〇	四六四三二
同十一月	六三三五八	五一、八四七
同十二月	七六八九六	七六七四九
七年一月	七〇三三一	八〇三三八
同二月	八二七〇四	七九三四一

七年三月

七四八九九

七七〇三七

同四月

六三、九三七

八九八六九

同五月

五七、六五五

八八、七七八

最近ノ輸出貿易ノ消長ガ單ニ輸出價額ニ依ツテノミ論ゼラレナイコトハ前述ノ通りデアル
ガ、カ、ル輸出品價額ノ暴騰ニ支ヘラレ乍ラモ本年支輸出額ガ前年同期ニ比シ一割六分ノ
減少ヲ見ルニ至ツタノハ何ガ原因デアラウカ。歐洲大戰勃發ニヨル對歐輸出、就中對獨輸
出ノ杜絶モ素ヨリ一因タルヲ失ハナイガ、カ、ル國外的事情ヨリモ國內的事情ガソノ根本
的原因ヲ爲シタモノト考ヘラレル。即チソレハ特產立管制度ノ實施デアル。該制度ノ實施
以來大豆以下雜穀類ノ市場出廻リガ激減シ、爲メニ國內各方面ニ種々ノ重大問題ヲ惹起シ
タノミナラズ日本ニモ重大波紋ヲ描イタコトハ周知ノ如クデアル。第三國向輸出ヘ歐洲大
戰勃發以來激減シテキルガ、コレラ巨シテ歐洲大戰ノ影響トナスハ單ナル結果論デ、根本
ヲ衝イタモノトハ云ヘナイ。海港ニ於ケル在庫高ノ激減ヤ、特產、雜穀類ノ對日支輸出ノ
著減等ハ何レモノノ出廻リ不振ニ基因シ、歐洲大戰ノ勃發ヲ見ベトシテモノノ出廻サ狀況
ヨリ推シテ第三國ニ對シ幾何ノ輸出餘力ガ存シタカハ頗ル疑問デアル。歐洲大戰勃發ト專
管制實施方得當時ノ同ジクシタ爲メ大戰ノ影響ヲ過大視スルモノデアツテ、特產、雜穀價
額ノ暴騰ノ如キモ出廻リ不振ニヨル需給ノ破綻ヲ原因トシ、前大戰トハ全ク事情ヲ異ニシ

テキルノアル。コノ間ノ事情ヲ「暦明ラカニスル爲メニ本年（一月—五月）ノ輸出價額ヲ仕向先國別ニ観察シテ見ヨウ。

七 年 六 年 増 減（△印滅）

日本	支那	第三國	合計
二四四六六四	八七五八一	一七二八一	三四九五二六
二五〇〇五五	八一、〇四八	八四二六〇	四一五三六三
△五三九一	△六六九七九	△六六九七九	△六五八三七

即チ第三國向ハ前年ノ八千四百萬圓ヨリ一千七百萬圓ヘト約五分ノ一ニ激増シテキルガ、日本向ニ於イテモ減少シテキル。支那向ハ微増シテキルガ輸出品價額ノ暴騰ヲ考慮スレバ量的ニハ寧ロ減少シテキルモノト見テヨイ。日本向輸出減モ同様量的ニハ金額ノ減少率ヨリ遙カニ大ナルコトハ想像ニ難クナイ。大豆、豆粕ノ如キ金額ノ上デハ前年ト大差ナイが數量ノ上デハ日本側ノ熾烈ナル要求ニモ拘ラズ前年ニ比シ何レモ三割強ノ減少ヲ示シテキル。

而シテ日本向輸出ニ對シテハ日滿吻動計畫ニ基キ政府當局ニ於テ特ニ意ヲ用ヒ、豫定量ノ輸出確保ニ努メタトコロデ、第三國向輸出モコレニ制肘サレタトコロ無シトシナイ。コレニ更ニ輸出品價額ノ暴騰ガ加ハリ乍ラモ右表ニ見ル如ク前年同期ヨリ五百餘萬圓ノ減少ヲ

來シタノデアル。コレヲ以テシテモ七年度輸出不振ノ根本原因ガ歐洲大戰ノ影響ニ非ザルコトハ容易ニ諒解デキヤウ。

尙参考ノ爲メ歐洲大戰勃發後ニ於ケル日本、支那、第三國向之出額ヲ掲グレバ左ノ通りデ對第三國ハ僅カニ三千三百萬圓ニ過ギズ、前年同期ノ四分ノ一ニモ充タナイ。而シテコノ間對日、對支向ハ共ニ増加シテキルガ、輸出品價額ノ昂騰ヲテ盧スレバ寧ロ減少シテキヤウ。ソノ一例トシテ大豆ノ本特產年度ニ於ケル對日輸出ニツイテ見ルニ金額デハ七千七百三十萬圓ト前年同期ヨリ四百九十五萬圓、ソノ率ニ於テハ六%ノ減少ニ止マルガ、數量デハ四十七萬九千六百噸ト前年ヨリ二十五萬一千九百噸、ソノ率ニ於テハ三四、四%ノ激減トナツテキルノデアル。同一期間ニ支那向ハ僅カニ二萬一千五百圓、第三國向ハ四萬五千二百噸ノ輸出量ニ過ギズ、前年同期ニ比シ前者ハ五分ノ一、後者ハ貳ニ二十分ノ一ニ激減シテキル。カ、ル結果ヲ見タコトハ歐洲大戰ノ影響ニ非ズシテ專管的ノ貿易ニ伴フ大豆出廻リ不振ガ根本原因デアルコトハ前述ノ通りデアル。

歐洲大戰後ノ仕向國別輸出額 (單位千圓)

支	本	六 年 九 月 一 七 年 五 月	前年同期	增 減 (△印滅)
		四〇三、七八六	三八三、八五九	一九九二七
		一三五九五六	一一九〇七六	一六八八〇

合計

五七二一〇一

六三七、三八一

△六五、二八〇

次ニ具体的ニ主要輸出品ノ消長ヲ見ルニ詳細項未掲示表ノ如クデ、大豆三品以下高粱、粟、玉蜀黍等主要雜穀ハ軒並的ニ濫漢シテキルガ、輸出ノ大宗タル大豆三品ニ於テ特ニ甚シケリ。年輸出總額ノ五割近クヲ占メル三品ノ七年度輸出額ハ一億二千三百八十萬圓ト輸出總額ノ三六%ニ低下シテキル。ヨレヲ前年同期ニ比スレバ七千八百七十萬圓（三九%）ノ減少ニ當リ七年度輸出總額少額ヲ變イテキル。而シテ前年度比較減少率ガ三九%ニ止マツタノハ價額ノ暴騰ヲ見タ結果デ、數量ヲニ見レバソノ減少割合ハ遙カニ大デアル。就中大豆ハ四十萬二千噸ト前年同期ノ僅カ三%ノ一び、前年同期對日輸出量ヨリ七十萬餘噸ノ減少ヲ示シテキル。大豆粕モ金額デハ僅カ二三%ノ減少ニ止マルガ數量デハ四二%ノ激減デ、ソノ内對日輸出價額ハ前年同期ヲ凌駕シテキルガ、數量デハ三三%ノ減少デアル。大豆油之數量ニ於テ前年ニ比シ四四%ノ増加ヲ示シテキルガ、第三國向數量デハ僅カ一三%ノ減少ニ止マルコトハ注目サレル。大豆以外ノ豆類ハ七年度二千萬圓ヲ超エ、前年同期ヨリ七百二十五萬圓（五二%）ノ增加ヲ示シテキルガ、數量デハ三三、三%ノ減少デ、價額騰貴影響ヲ受ケタ代表的ナモノト謂ヘヤウ。

高粱、粟、玉蜀黍等主要雜穀ノ輸出モ亦頗ル不調アツタ。高粱ノ七年度輸出高ハ僅カニ

三萬六千餘噸デ、前年同期ニ比シ六二%ノ著減、前々年ニ比スレバ實ニ七一%ノ激減デ、其ノ内日本向ヘ前年ヨリ五八%，支那向ハ六七%ノ得減少ヲ示シテキル。粟モ前年ノ十萬五千噸ニ對シ本年ハ二萬噸ニモ達セズ、就中對日輸出ハ八一%ノ激減デアル。然シ乍ラ金額デハソノ割合ニ減少シテキナイノヘ價額騰貴ノ爲メデアル。更ニ玉蜀黍ニ於テモ前年度ノ十八萬二千噸ヨリ三萬八千六百噸ヘト約五分ノ一ニ激減シ、金額ニ於テモ九百二十萬圓ノ減少デアル。絹上ノ高粱、粟、玉蜀黍ノ輸出ハ日本及支那向デアルガ、尙右ノ如キ激減ヲ示シテキルコトハ特產輸出不振ガ專ラ國內事情ニ基クコトヲ立證シテ餘リアルモノト謂ヤウ。穀及混合飼料ノ如キモ殆ド全部日本向デアルガ、日本ノ飼料饑餉ヲ他所ニ本年ノ對日輸出高ハ僅カニ二萬七千餘噸デ前年ニ比シ六五%，前々年度ニ比シ七三%ヲ夫々減少シ、日本ニ於ケル深刻ナ飼料不足ノ主因シ爲シテキルコトガ窺ハレル。

以上ノ外落花生、桂胡麻子並ニ同油等モ一樣ニ激減シテキルガ、落花生ハ金額デハ増加シテキル。只蕎麥、大麻子等ガ數量、金額共増加シテキルガ、コレラハ金額ヨリ見ルトキハ極メテ少額デ大勢ニハ全ク影響ナイ。

〔後ニ七年度（一月十五月）ニ於ケル特產、雜穀類十三品目ノ輸出額ヲ見ルニ（次表参照）ノ合計一億八千百七十五萬圓デ、輸出總額ニ對シ五二、一%ヲ占メルニ過ギナイ。前年期ノ六八、七九、前々年同期ノ六五、七九ニ比シテ著シクソノ比率ヲ低下シテキル。又

右合計額ハ前年同期合計額二億八千五百三十萬圓ニ比シテ一億三百六十萬圓ノ減額デ、ソノ減少割合ハ三六・三%デアル。七年度ノ總輸出減額六千五百八十万圓、ソノ減少割合一五・九%ニ比シ、ソノ金額並ニ割合ノ遙カニ大ナルコトハ輸出貿易ノ不振ガ専ラ專管判ニヨル特產、雜穀類ノ出廻リ不振ヲ因トシ、コレラ十三品ヲ除ク諸品ノ輸出ハ前年ヨリ一段好調ヲ辿ツテキルコトヲ物語ルモノデアル。即チ前記十三品ヲ除ク諸品ノ輸出合計額ハ七年度（一月—五月）ニ於テ一億六千七百七十萬圓、前年同期ノ一億三千萬圓ニ比シ三千七百七十萬圓ノ増加ヲ示シテキル。コレヲ要スルニ七年度輸出貿易ハ特產、雜穀類ノ量的減少方特ニ顯著ナルニモ拘ラズ、ソノ價額昂騰トコレラ各品ヲ除ク諸品ノ輸出好調ガ影響シテ表面的ニハ前年同期ニ比シ一六%ノ減少ニ止マリ、專管制度ノ與ヘシ輸出貿易ヘノ打撃ヲ著シク緩和シテキルコトガ窺ハレルノデアル。

特產雜穀類輸出三箇年間對照表（一月—五月累計）

數量 單位	康德五年			康德六年			康德七年		
	數量	價額	數量	價額	數量	價額			

大

豆

總額 106,700 11,241 106,700 11,241 106,700 11,241

八

九

落花生	同	KK	14004	KH11	WOKI	落花生
日本	同	KK	10000	KH14	WOKI	日本
支那	同	KK	—	KH15	—	支那
第三國	同	KK	—	KH16	—	第三國
蕃麥	同	KK	14004	KH11	WOKI	蕃麥
日本	同	KK	10000	KH14	WOKI	日本
支那	同	KK	—	KH15	—	支那
第三國	同	KK	—	KH16	—	第三國
生胡麻子	同	KK	14004	KH11	WOKI	生胡麻子
日本	同	KK	10000	KH14	WOKI	日本
支那	同	KK	—	KH15	—	支那
第三國	同	KK	—	KH16	—	第三國
山藥	同	KK	14004	KH11	WOKI	山藥
日本	同	KK	10000	KH14	WOKI	日本
支那	同	KK	—	KH15	—	支那
第三國	同	KK	—	KH16	—	第三國
山藥	同	KK	14004	KH11	WOKI	山藥
日本	同	KK	10000	KH14	WOKI	日本
支那	同	KK	—	KH15	—	支那
第三國	同	KK	—	KH16	—	第三國

在胡麻子油	同	同	同	同	同	同	同
日本	同	同	同	同	同	同	同
支那	同	同	同	同	同	同	同
第三國	同	同	同	同	同	同	同
大麻子油	同	同	同	同	同	同	同
日本	同	同	同	同	同	同	同
支那	同	同	同	同	同	同	同
第三國	同	同	同	同	同	同	同
穀及混合種籽	同	同	同	同	同	同	同
日本	同	同	同	同	同	同	同
支那	同	同	同	同	同	同	同
第三國	同	同	同	同	同	同	同
100%種類	同	同	同	同	同	同	同
100%種類	同	同	同	同	同	同	同
—	同	同	同	同	同	同	同
—	—	—	—	—	—	—	—